

ボローニャ大学 協定留学（交換留学）月例報告書（2022年11月）

文化政策学部 国際文化学科4年 外川内瑞季

10月でサマータイムが終了してから、日没が早まり、気温もかなり下がった。急に暗く、寒くなったが、元気に過ごしている。今月の報告書は、ボローニャ大学のキャンパスや授業の様子と、現在住んでいる住まいについて書く。

【キャンパス・授業について】

ボローニャ大学の校舎は、街のいたるところに点在している。ボローニャ以外にも、ラヴェンナやフォルリなど、他の都市にも校舎を構えている。

基本的に、教室は学生で溢れている。個人のスペースにあまりゆとりが無く、隣の学生との距離もとても近い。椅子も足りないことが多いため、荷物は地面に直置きしなければならない。また、遅れてしまった場合、別の教室から椅子を持ってくる、あるいは地面に座って授業を受けることが普通である。イタリア人の学生によると、学生の数に対して教室の大きさが十分でないことはよくあるらしい。SUACではたびたび教室変更が発表され、さらにコロナ禍で十分に距離をとって授業を受講していたため、驚きが大きかった。



歴史学部の校舎

キャンパスや図書館の内部では、当たり前のように天井画や壁画が存在している。あまりにも自然にそこにあるため、特別なものではないのだろうが、校舎自体に歴史的な価値を感じてしまう。現在は歴史学部の校舎に通っているが、すぐ隣には教会がある。このように、イタリアでは教会が日常のなかに当たり前



校舎（右）とサン・ジョヴァンニ・イン・モンテ教会

存在している。他にも、政治学部の校舎は「ヘルコラニ宮」という史跡のなかにあり、立派な建物のなかで授業が行われることにもとても驚いた。世界最古の歴史ある学び舎で勉強できることは、とても贅沢であり、幸せである。

私は11月から、「Storia Dell'Europa Contemporanea」（現代ヨーロッパの歴史）という

授業に出席している。20世紀ヨーロッパの歴史、主に世界大戦時について取り上げられ、ファシズムの話題が中心である。

授業は9:00-11:00の約2時間、ひたすら教授が話している。他の授業では、テキストやパワーポイント、バーチャルクラスルーム（SUAC manabaのようなもの）が用意され、それらを使いながら進められる授業がほとんどであるが、この授業はそれらが無く、教授の口頭の説明のみで授業が進められている。

よって、授業の内容以前に、イタリア語に慣れていない私にとってはとても難しい。最初こそ、教授が何を話しているのか、いま何の話題なのかほとんど理解できず、2時間の授業が苦痛に思っていた。しかし、約一ヶ月通い続けて、最近は以前よりもイタリア語を遥かに聞き取れるようになった。単語の一つひとつが見えるようになってきた。話を聞いていて、次にどのような話題が来るか予測できたときは、自分の成長を感じた。残り一ヶ月も通い続け、留学期間中に一つでも単位を取得することを目標に、今後も勉強に精一杯励みたい。

【住まい：Casa Bologna】

ボローニャに滞在するには、さまざまな方法がある。大学の寮やホームステイなどもあるが、学生にとってはルームシェアが一般的である。現在私が住んでいる家もルームシェアタイプだ。中心地までは徒歩30分かかるが、家のすぐ近くにスーパーとドラッグストアがあり、良い環境だと感じる。

ハウスメイトは、イタリア人の学生2人、ドイツからの留学生との4人で暮らしている。全員ボローニャ大学の学生であるため、よく授業やテストの話をする。家ではイタリア語を話している。

私はイタリア人の学生との二人部屋であるため、毎日必ずイタリア語を話す機会がある。



特に最近は、イタリア語でより長く、よりスマートに会話ができるようになってきた。日常会話からお互いの国の文化のことも話し、教科書や辞書では学べないような表現の仕方を学ぶことも多い。

ハウスメイトが dolce を作ってくれました。いただいてばかりなので、私もお返ししたいと思います…！！

共同生活では、楽しいことも、ストレスを感じることもある。3か月間この家で暮らして、全てが順調だったわけではなく、悩むこともあった。しかし、あまり細

かいことを気にせず、しかし伝えたいことや自分の主張をはっきりと述べることの重要さ

を、身をもって実感した。とにかく、口を開く、言葉を発することが大切だと日々痛感する。

先日はハウスメイト全員で、ルカ・グアダニーノ監督の最新作「Bones and All」を観に行った。この映画は9月のヴェネツィア国際映画祭でも賞を獲得した作品であり、そのような映画を公開初日に、はじめてのイタリアの映画館で、そして何よりもハウスメイトと鑑賞できたことは、とても心に残る思い出となった。



これからも交流を深めて、お互いを尊重し合い、助け合いながら過ごしていきたい。

ルームメイトの方の誕生日をお祝いしました。とっても素敵な方です！

クリスマスが近くなり、街にもクリスマスムードが漂ってきた。夜はとても寒いですが、街はとても美しい。12月も勉強に全力で取り組み、イタリアのクリスマス・年末を存分に楽しみたい。



ハウスメイトのみんなと一緒に！



クリスマスマーケットも始まりました！



フィレンツェのウフィツィ美術館に行ってきました。毎月第一日曜日は嬉しいことに、国立の美術館や博物館に無料で入場できます。

ジョット、ボッティチェッリ、レオナルド・ダ・ヴィンチ、…。教科書やSUACの授業で学んだ作品をこの目で見ることができ、とても幸せでした。素晴らしかったです。特に、カラヴァッジョの「メドゥーサ」に引き込まれました。

じっくりゆっくり鑑賞し、朝の9時から16時半まで、約7時間以上滞在してしまいました…！
フィレンツェの街並みを堪能できていないため、必ずまた訪れます！！

